

# モニタリング結果報告書 (2018年度)

## 1. 施設概要

施設名	かながわアートホール		
所在地	横浜市保土ヶ谷区花見台4番2号		
サイトURL	https://www.kanagawa-arthall.jp/		
根拠条例	神奈川県立かながわアートホール条例		
設置目的(設置時期)	県民の文化芸術に関する活動の振興及び福祉の増進を図るため (H20.3)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団グループ		
指定期間	H27.4.1 ~ R2.3.31 (2015年) (2020年)	施設所管課 (事務所)	文化課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況はA評価であったが、満足度、収支状況がS評価だったため、3項目評価はS評価となった。 平成29年度に試行した「野外コンサート」を平成30年度は3回実施したことや、夏期企画「かなフィルランド」の内容をブラッシュアップし、地元保土ヶ谷区の地域ボランティア団体と協働することで、これまでの芸術的発展への寄与に加え、より地域に根付いたホールとして愛されるよう模索した。 今後も文化芸術に親しんでいただく環境を提供しつつ、様々な観点から企画や事業形態・イベントを立案し、地域住民から愛され、より多くの方に音楽に興味を持っていただけるような取組みに努めていく。</p>	
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況 3年目を迎えた「みんなの音楽プロジェクト」は、参加者がより楽しめるよう改善されていた。 夏期企画「かなフィルランド」については、これまでのカジュアルコンサートの演奏会や楽器体験だけでなく、地元ボランティア団体と協働し「ファミリー縁日」と題した、普段触れる機会の少ないイベントを多数行い、それを通じて音楽だけでなく芸術文化に触れ親しんでもらおうとリニューアルされていた。 冬期企画の「神奈川フィル・ジュニアオーケストラ」は楽器未経験者の子ども等を対象としているが、3回目を迎え、応募する学生から、「過去に参加して楽しかったから応募した」「先輩後輩が参加した話を聞いて興味を持った」などへの意見もあり、好評価を得ている。 また、カジュアルコンサートにおいては、指定管理者の構成員として神奈川フィルが参画している特色を活かしていた内容とされていた。 この他にも自主事業として、地元の中学校・高校の吹奏楽部が出演したキッズコンサートや、アートホールのテラスをステージとした「野外コンサート」、入場無料のDVD鑑賞会などを定期的で開催し、どの催しも大勢の来場者があり盛況であった。</p> <p>◆利用状況 来場者数は前年度より2%ほど減であったが、目標比105.1%となりA評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 無回答を除いた回答のうち97%以上が「満足」「どちらかといえば満足」であったため、前年度に引き続きS評価となった。しかし5件の「どちらかといえば不満」の回答があったことを踏まえ、今後このようなことのないよう利用者からの声を聞いたり意見を取り入れながら利便性向上や改善など、水準の高い取り組みを行っていく。</p> <p>◆収支状況 前年度より減となったが、収支差額の決算額/収支差額の当初予算額の比率が964.28%となり、S評価となった。</p> <p>◆事故・不祥事等 平成29年度に経年劣化等で起きていた不具合は順次対処・改修しているが、まだ手が付けられていない箇所や、施工業者を選別中で時間が掛かっている部分についても、できるだけ次年度の早めの段階で対処していく。</p>	
3項目評価	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要</p>
S	<p>※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう</p>

### 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	11月、3月	11月:清掃スタッフの業務中の怪我があった。 3月:平成29年度分の監査の結果、不適切事項の指摘があった。
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月1回程度	
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	指導・改善勧告等の内容
		平成31年3月7日に実施された監査の結果、不適切事項が認められたため、今後事務誤りが生じないように改善勧告を行った。

4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>&lt;事業の実施&gt;                      県民の方々に文化芸術に親しむきっかけを提供し、アートホールが地域の文化芸術振興の担い手となるよう事業を行う。</p>	<p>○「アートホール・みんなの音楽プロジェクト」の実施                      ・夏期企画：かなフィルランド～ミュージックプレイパーク～（平成30年8月5日）                      神奈川フィルの室内楽コンサート4回、楽器体験、ほどがや市民活動センター（アワーズ）によるバルーンアートや将棋体験など様々なイベントを開催。延べ入場者数約1,100人（楽器体験、カジュアルコンサート、各イベント合計）であった。                      ・冬期企画：神奈川フィル・ジュニアオーケストラ（平成30年11月25日～平成31年1月6日）                      小学4年生～高校3年生の52名の受講生が、神奈川フィル団員による指導や合奏等6日間の練習を経て、神奈川フィルとともに修了コンサートに臨んだ。                      ○映画や音楽映像のDVDを上映する「DVD鑑賞会」を毎月開催、3月には「DVD鑑賞会スペシャル」として東京オリンピックのドキュメンタリーを2回開催した。来場者は66%増加した。                      （H28：886人、H29：1,049人、H30：1,746人）</p>	
<p>&lt;保土ヶ谷公園や地域と連携した取り組み&gt;                      保土ヶ谷公園利用者や地域の方々に向けた取組みを行う。</p>	<p>○キッズコンサートを保土ヶ谷公園「梅まつり」に併せて開催した。                      ○神奈川フィルリハーサル公開情報やDVDコンサート情報を公園掲示板に掲示した。                      ○保土ヶ谷区主催の「ほどがや区民まつり」に出演する団体へ控室としてスタジオ等を提供した。                      ○平成29年度に試行した「野外コンサート」を平成30年度は3回実施した。</p>	

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等

## 5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
A	

	前々年度	前年度	2018年度
利用者数※	54,059	55,438	54,335
対前年度比		102.6%	98.0%
目標値	51,130	51,510	51,690
目標達成率	105.7%	107.6%	105.1%

目標値の設定根拠：

事業計画書

利用者数の算出方法（対象）： ホール、スタジオ、音楽情報コーナーの利用者数と来場者数の合計（ホール、スタジオについては利用者からの申告人数、音楽情報コーナーについては職員がカウント）

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

## 6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
		(1) 簡易アンケート 利用施設の窓口で常時用紙を備え、利用者に記入していただくなど、簡便な方法で随時実施するアンケート。 (2) 詳細アンケート 最低年1回、時期を定めて、より詳細な質問項目のアンケートを管理施設の利用者に配布し、管理施設ホームページでも実施し分析する。8月と1月に実施。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 当館の運営や管理についての総合評価をお聞かせください。

実施した調査の配布方法 用紙配布、ホームページ 回収数/配布数 210 / 863 = 24.3%

配布(サンプル)対象

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	149	43	5	0	197	・カジュアルコンサートの来場者の満足度が高い。 ・Web予約とクレジット支払いについて実施希望があった。
回答率	75.6%	21.8%	2.5%	0.0%		
前年度の回答数	198	46	3	0	247	
前年度回答率	80.2%	18.6%	1.2%	0.0%		
回答率の対前年度比	94.4%	117.2%	209.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

## 7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：プラスの施設が該当 収支差額の決算額／収支差額の当初予算額の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支差額の決算額 /収支差額の当初 予算額
前々 年度	当初 予算	104,487	15,604	5,655	立替収入・ 事業収入	125,746	125,746	0	
	決算	104,487	16,412	6,240	立替収入・ 事業収入・ 雑収入	127,139	115,822	11,317	109.77%
前 年度	当初 予算	104,419	15,690	5,770	立替収入・ 事業収入	125,879	125,493	386	
	決算	104,419	15,611	6,163	立替収入・ 事業収入・ 雑収入	126,193	117,068	9,125	2363.99%
2018 年度	当初 予算	104,447	15,690	5,770	立替収入・ 事業収入	125,907	125,140	767	
	決算	104,447	16,124	6,272	立替収入・ 事業収入・ 雑収入	126,843	119,447	7,396	964.28%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

2018年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

8. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	満足度調査	1 件	・Web予約やクレジット支払いが出来るようにしてほしい	予約システムとの兼ね合いで導入を検討する。
	満足度調査	1 件	・冬期の乾燥は弦楽器に良くないので、加湿できるようにしてほしい。	即座に第2～5スタジオに加湿器を導入した。
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 □ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
2018/11/14	①清掃業務を行っている作業員が階段を踏み外し転落、本人からの依頼により救急車を要請し搬送された。 ②同日電話にて確認 ③肩の脱臼と肋骨の一部骨折により全治3か月の入院。退院後は職務復帰。 ④無 ⑤作業員が高齢であることによる階段踏み外しの転倒で、治療費は業者負担。今後も同様な事があった場合には作業に支障が出るのでスタッフ変更を含め検討すると申し出あり。 ⑥無
2019/3/7	①平成29年度の監査が行われ、支出事務において、平成29年度かながわアートホール清掃等業務委託契約(契約額6,998,400円)に基づく委託料の支払に当たり、契約書で定めた月別委託料と毎月の請求額が異なるにもかかわらず、請求額により支払っていたため、2件、289,301円の支払が過大であり、10件、289,304円の支払が過少であった。 ②3月13日に随時モニタリングにて書類を確認 ③差額として過小となっている3円については、受託業者との協議により請求しないこととされた。 今後は、請求書の支払金額を確認するとともに、落札業者と締結する契約書においては、毎月定額による支払ではなく、年間の契約額の範囲内において毎月実際の清掃業務の内容による請求書に基づき支払をする旨を記載することとした。 ④無 ⑤不適切事項については、請求書を受領した際に契約書の支払金額を確認していなかったこと及び清掃業務は毎月の清掃内容が異なり、毎月定額での請求が困難であるにもかかわらず、落札業者と綿密な調整をせずに契約を締結してしまったことによるものであった。 費用負担：無 ⑥有（平成31年3月15日）監査事務局による記者発表

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。